

# 平成 22 年度 第 2 回常任理事会議事録

平成 22 年 9 月 15 日(水) 19:00 ~ 23:00 於: 県士会事務所

出席者: 上遠野純子, 本地光弘, 畑中一枝, 道又顕, 大貫操

理事 5 名/5 名

欠席者: なし

## 【審議事項】

### 1) 上半期決算および補正予算の件(委託業務の件も含めた補正)について

畑中事務局長より, 会員数 690 名, 会費納入率 90% を前提とした補正予算が提案された。各部局の予算執行状況と補正案を審議した結果, 予算化においては, 理事会における審議が成されるべきであり, 各部局の予算計上の進め方を確認しあった。銀行残高および単年度収支の確認が必要であり, 次回理事会で承認を得るように, 再度補正予算案が提出されることとなった。

今後の予算前提となる組織率は 100% であるべきこと, 会費納入率が低い現実については支出を納入率に合わせた予算執行にすべきが本来であるだろうとの意見交換がなされ, 次年度予算案作成時はそのように対応していく方針で確認された。

### 2) 訪問リハビリテーション研修企画について

9 月 9 日, 10 日の両日東京で開会された, 全国訪問リハビリテーション振興会主催全国訪問リハビリテーション研修会についての参加報告が, 道又理事からなされた。振興会の目指すものは, 決して開業権ではなくあくまでも, 利用者がリハビリテーションを利用しやすくなることである。

平成 24 年度の医療・介護報酬同時改定にむけ, 各都道府県へ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の 3 士会合同による研修実務者育成の協力が求められている。振興会より各県に担当窓口を設置することが求められており, 本県では窓口を道又理事とした。他士会との調整, 当士会の組織作りが必要と考えられることから, 特設委員会を立ち上げ, 委員を公募したい。

次回理事会で, 特設委員会の予算化を提案し, 補正予算と合わせて審議する。

### 3) H23 年度県学会企画(H23.5.22 定期総会時開催)についての素案検討

上遠野学会長より仮テーマ「作業療法の挑戦」と, 構成内容について素案が提案された。通常の総会は今までも理事会が運営しており, H23 年度の学会が総会時の開催であることから, 理事会の運営としたい。次回理事会で予算案とあわせ提案の上, 役割分担等をすすめていきたい。

### 4) 名義後援依頼

障害者就業セミナー in みやぎ・せんだい 2010 への名義後援依頼については常任理事会で承認された旨を次回理事会で報告する。

### 5) その他

#### ・H23 年度協会表彰推薦について

該当者推薦要件をみたとす会員への打診と, 回答状況が畑中事務局長より報告された。協会功労表彰については他の会員の模範となるものについては基準が明確になっていない。今後, 該当者の人数が増えることも予想されるが, 士会では当面の間協会の設定する基準に基づき, 推薦時に士会員であり会費納入済みの者としていくことが提案され, 承認された。

#### ・広告記事依頼への対応について

河北新報朝刊への協賛広告掲載について, アドコーポレーションより打診があったことが上遠野会長より報告された。県民への啓蒙という意味では非常に魅力的な媒体であるが, 回答期限が迫っている。協賛広告を士会で依頼する必要性もある。士会が先行投資として広告掲載をすることについて, 会員へ

の説明も十分できず、理事会の審議が十分でないままに予算立てることは難しいことと考えることから、士会設立 30 周年など、タイムリーな話題にあわせて事前の予算化啓発も含めて十分な審議が必要という意見がまとまり、今回の掲載は見送られることとなった。

#### 6) 各部署からの報告

**上遠野会長：**第 8 回協会・都道府県合同役職者研修会への参加報告、認知症の人と家族への援助をすすめる 26 回全国研究集会への実行委員会へは畑中事務局長の代理出席により参加したことが報告された。

**広報部：**・今年度 1 月発行のニュースを県民への士会紹介のパンフレットという形での発行で予定しており、現段階での素案が出された。最終の決定についてはより具体的な草案、予算案として理事会に提出していくこととなった。

・ホームページ掲載情報のタイムリーな更新の為に、現在部内でブログ化を試験運用中である。HP のサイドメニューなどの構成、修正案についても利便性、安全性の面から検討している。結果を理事会に報告したい。

**事業部：**今後も、組織立てて収益性や公共性のある事業について企画を練っていきたいことが報告された。

**学術部：**学術誌の進捗状況について報告された。原稿入稿に遅延があり、10 月発行となる見込みである。

**第 22 回東北作業療法学会実行委員会（H23.10/15-16 開催）：**会期中に県士会主催の市民公開講座を開催できないかとの依頼あり。担当部署として、事業部が担当できるか部内で検討してもらうこととなった。

次回開催予定 第 2 回理事会：平成 22 年 10 月 20 日(水) 県士会事務所にて